

J A山武都市作柄調査報告（2月号）

報告日:令和3年2月10日(毎月10日発行)
報告者:営農部 営農振興課 小柳

【 秋冬春ネギ 】

【作柄調査(さんむ中央管内)】



調査地区	鳴浜
調査日時	2021/2/16
天気	晴れ
品種	初夏扇
播種日	6月上旬
定植日	7月中旬
例年は3月下旬から収穫しているが、収穫進度が進んでおり、3月上旬には収穫に入る予定。病害虫の発生は少ない。	

【作柄調査(やさいの里管内)】



調査地区	蓮沼
調査日時	2021/2/16
天気	晴れ
品種	春扇
播種日	5月下旬
定植日	7月上旬
春ネギ圃場。3月上旬には仕上がる見込み。前段の秋冬ネギが生育が進まず、春ネギからの出荷も検討中。	

【作付状況及び出荷計画】

ケース=5kg

センター名	地区	栽培面積 (ha)	生産者数 (人)	出荷計画 (ケース)	1月末 出荷実績 (ケース)	計画対比 (%)	主な品種	出荷開始日
さんむ中央		113.8	233	780,000	225,195	28.9%	夏扇4号 夏の宝山 龍ひかり2号 春扇 初夏扇 羽緑 他	9月2日
やさいの里	第三	36.4	101	212,900	53,783	25.3%		9月13日
	豊岡	3.0	9	18,000	4,976	27.6%		11月12日
	大総	5.0	12	21,600	6,897	31.9%		11月15日
								11月23日
東金KC		1.3	6	6,400	604	9.4%		10月7日
大網KC		13.5	20	60,000	38,429	64.0%		10月14日
その他(芝山KC、山武KC)		5.0	8	25,000	10,754	43.0%		
合計 (前年比)		178 (96.7%)	389 (95.5%)	1,123,900	340,638 (89%)	30.3%		

《JA山武都市管内の作柄状況》

2月中旬現在の出荷状況は、さんむ中央で4000ケース～、やさいの里で900ケース～と例年同時期に比べ1割以上少ない日が続いています。1月上旬の強風被害がありましたが、出荷規格の緩和対応もあり、何とか継続して出荷を行なっています。2月に入り葉も回復してきていますが、夏場の欠株とシーズン通して細めであることから、多くの圃場で反収が伸び悩み、例年よりも2～3割収量が減っています。そのため、収穫作業が前倒しとなっており、一時的に出荷を休む方や、生育の進んでいる春ネギを先に収穫する方も出てきています。例年は2月以降太物が増え出荷量も増加傾向となる時期ですが、今年は大幅な増量はなく春先まで進んでいく見込みです。

病害虫の発生状況は、これまで発生が少なかった地域でも黒腐菌核病の発生報告が増えてきています。次作に向けて排水性の改善や薬剤防除を徹底していきましょう。

※2月15日、17日にも暴風雨や強風の日が続きました。回復してきたネギの葉が再び折れている圃場も散見されましたが、1月の被害に比べると葉の折れは少ない傾向です。但し、夏ネギのトンネル圃場では、再び被覆が飛ばされるなどして修復作業に時間が取られそうです。